

菅野フミさん(佐須)が歌集「想い出」を発行

短歌で綴った人生、1冊の本に



▲歌集を発行した菅野フミさん

力は証明済み。短歌や標語の入選でもらった感謝状も数十枚にのぼるそうです。

そもそも歌集を作るきっかけになったのは、子供さんやお孫さんにすすめられて。「形見にでもする気持で作ってみたいと言われるまでは、本にするなんて夢にも思いませんでした」とフミさん。

編集を行ったのは、現在は関東に住んでいるお孫さんの良一さんと淳さん。

製作期間約1年、今年1月に発行となり、フミさんの手元に届いたのは2

月の中頃。50冊届いた歌集「想い出」を早速お世話になった人や知人、隣

近所に配ったとのこと。

「想い出」は、ページ

数115ページ。中には

フミさん自身が作った短

歌が約500作ほど掲載

され、また短歌を作った

ときの想い出などが一緒

に綴られており、「想い

出」のタイトルどおりの

内容となっています。フ

ミさんの短歌は、生活の

中で感じたことやお世話

になった知人を詠んだも

の、旅先での情景、感想

などが素朴な言葉で詠わ

れており、フミさんの感

情やその情景が素直に伝

わってきます。

夫の勇さんはフミさん

のことを「気が付くと一

人で静かに帳面を開いて

短歌を作っています。まだ

まだやる気はあるようだし、

長生きの秘訣

なのかも知れ

ません」と話

します。



▲ご家族と

今、原町市在住の娘さんからは2冊目の歌集の製作をすすめられているフミさん。今後も短歌を作り続けていくそうですし、今回の「想い出」はフミさんの作った短歌のまだほんの1部とのこと。2冊目の発行もそう遠くはないかも知れません。

歌集「想い出」▶

